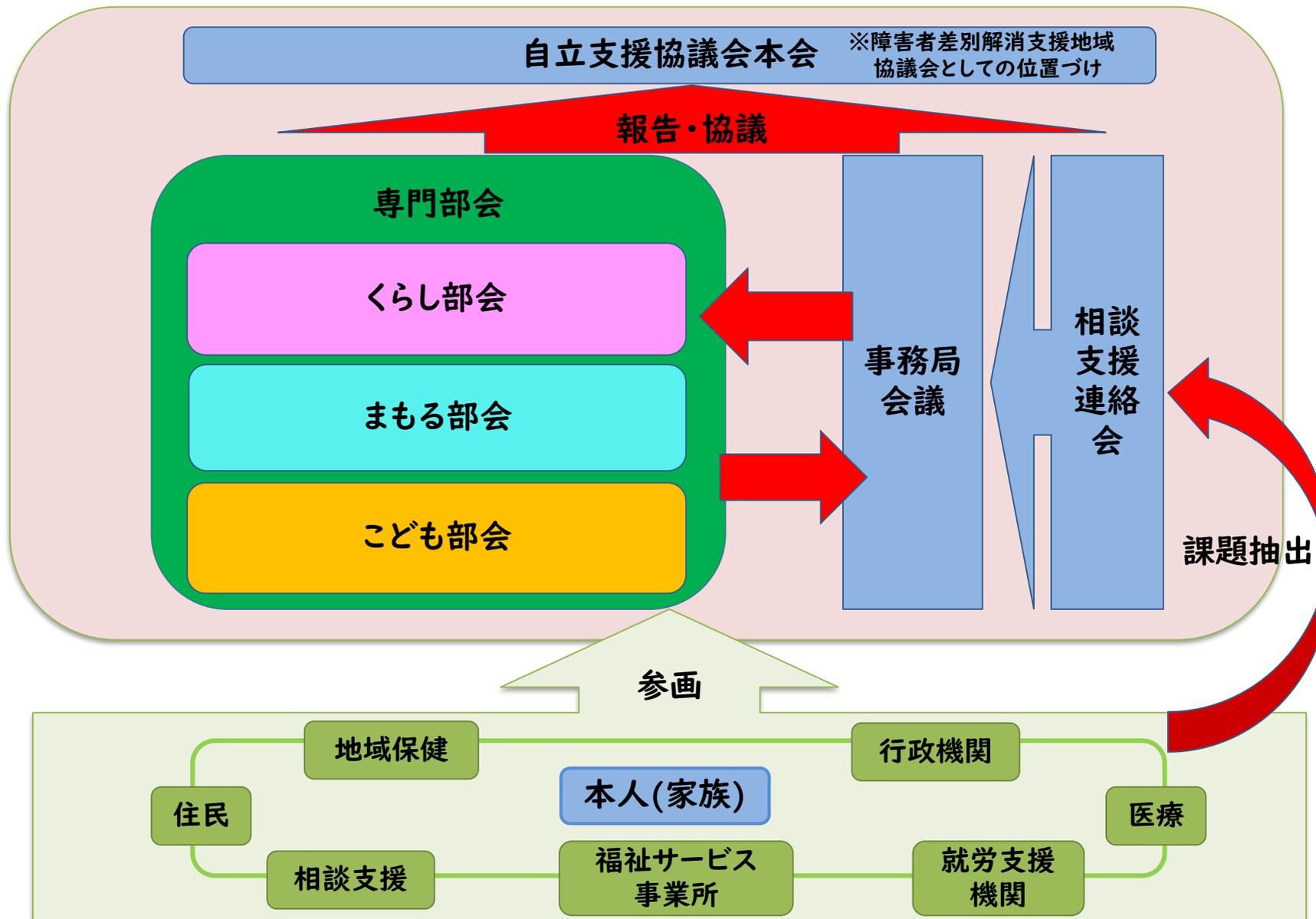
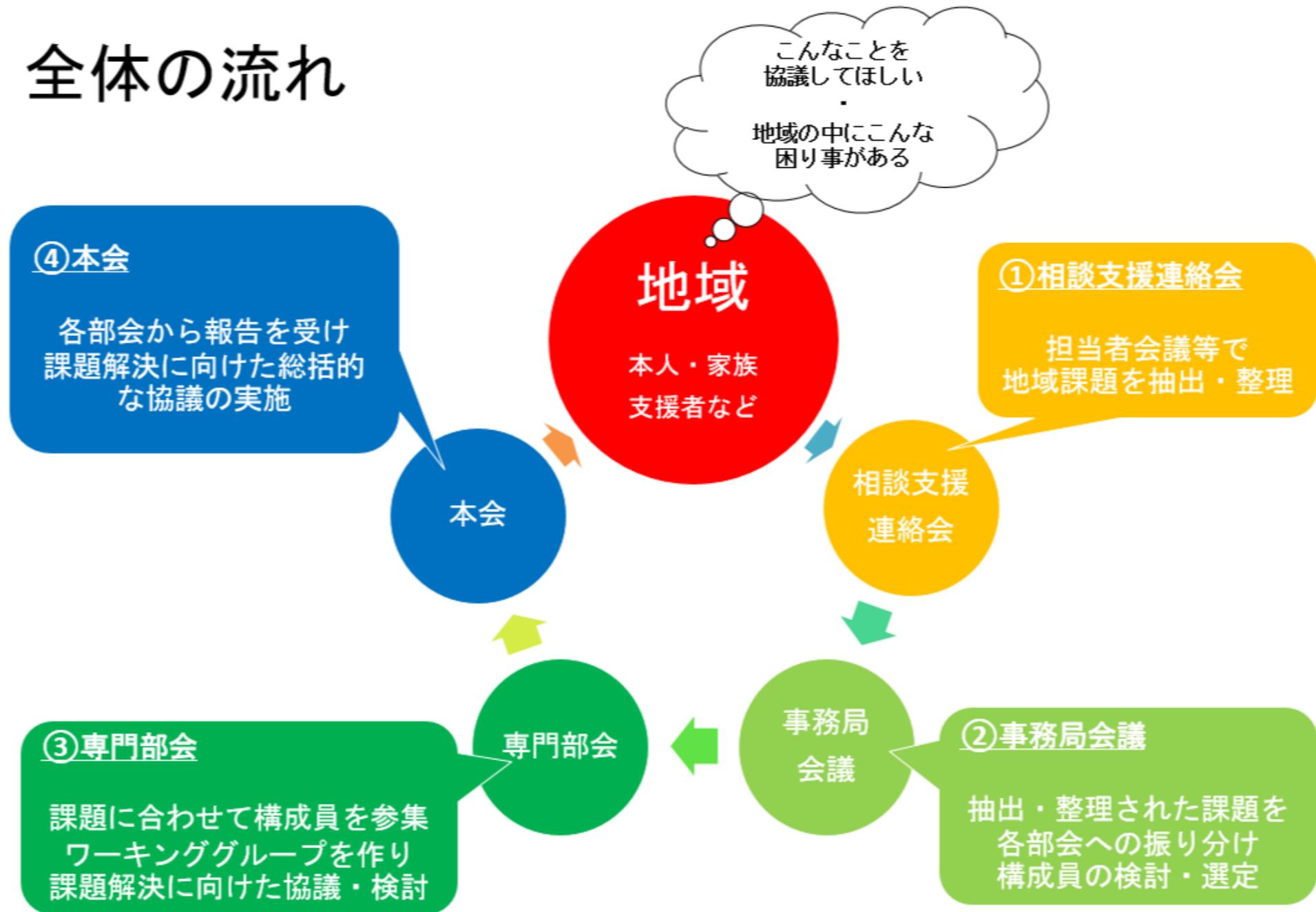


佐渡市地域自立支援協議会 全体図



全体の流れ



くらし部会

検討項目	1	精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム	【事務局】 ◎すたーと さど あてび 社会福祉課 石山主任相談支援専門員(部会長) 金子相談支援専門員 高野センター長 塚本、荒井
	2	障がい者の就労支援	
	3	障がい理解の促進	
	4	ひきこもり、不登校	

検討項目	1 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム	2 障がい者の就労支援	3 障がい理解の促進	4 ひきこもり・不登校
内容	地域と医療の連携の再構築を行う。病院が退院支援の際に必要な情報は何か、地域側が必要な情報は何かを知る。本人は生活者であるという視点で、お互いに支援ができるよう協議する。再発や再入院が防止できるように、入退院調整のシステム作りを行う。	なかなか障がい雇用がひろがっていない現状がある。他地域ではどのようにしているのか、今年度は他地域の取組について研修を実施し、好事例を共有する。共有した中で、佐渡だからできることについて、検討をしていく。	様々な特性を持った子どもたちを支えてくれている先生は困り感はないのか。どんなことに困っているのか。学校では障がいの理解がどこまでされているのか等をアンケートを実施し、普及啓発に努めたい。そのため、こちらの意図が伝わるような内容を作成するため協議を行う。	ひきこもりの当事者や家族を支えるためには、支援者自身にスキルが必要となる。長期的に支援していく視点が重要であるが、実際に実践ができるような研修会を行い、研修会を基盤として、ワーキングを再度検討していく。
目標	地域と医療の連絡会を再開	他地域の好事例を学ぶ	アンケートの内容を決定する	研修内容を決定する
進捗・結果	①令和6年11月29日 ②令和7年3月5日開催 旧精神障がい部会での残された課題の確認や、現ワーキングの目的について確認。入退院支援ルールの作成に向けた意見交換を実施。入退院時のお互いの役割や動きについて確認し、フローを作成して見える化を図った。また入退院時に情報共有が図れるよう、入退院時情報提供シートを作成中である。	①令和6年11月8日 障害者就業・生活支援センターぼらんちの夏目様より、静岡で取り組んだ好事例の研修開催。佐渡でもできることをグループワークにて検討した。 ②令和7年1月24日 令和7年10月から開始となる障害福祉サービス「就労選択支援」についての情報共有と佐渡特別支援学校卒業予定者の就労アセスメントの実施方法について検討した。	①令和7年3月6日打合せ こども部会でも保護者や支援者へのフォロー等を検討していることから、内容が似通ったワーキングにならないように打ち合わせを実施。令和7年度は合同でワーキングを組むこととなった。来年度すぐに始動ができるように、近くコアメンバーで再度打合せを実施予定。	①令和7年2月20日 令和7年1月厚生労働省策定の「ひきこもり支援ハンドブック～寄り添う支援のための羅針盤～」について共有した。来年度はひきこもりについての協議検討の場を再構成し、再度ひきこもり支援の課題について精査する。

くらし部会では、
障がいの有無や程度にかかわらず、
誰もが安心して自分らしく暮らすことができる
地域を目指します!!



障がい者の就労支援

☆他地域での好事例を学ぼう!!

【行った内容】

○静岡から講師を招き、好事例について研修開催。事例を聞いたうえで佐渡でできることをグループワークにて検討した。
○令和7年10月から開始となる障害福祉サービス「就労選択支援」についての情報共有と佐渡特別支援学校卒業予定者の就労アセスメントの実施方法について検討した。

障がい理解の促進

☆学校の先生に障がい理解を進めたい!!

【行った内容】

こども部会の内容と重なる部分があるため、くらし部会とこども部会のコアメンバーで内容を再検討。
理解が進んだ佐渡で生活できるようにとのゴールは同じため、合同で進めていくこととした。
令和7年度に、中学校の先生に的を絞ってアンケートを実施予定。

精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム

早期発見・早期治療が大切!!

☆入退院調整が上手くいくと、再発や再入院が防止できる

【行った内容】

地域で生活ができるように、医療と地域で入院時から退院後までのそれぞれの役割を確認。どの段階で、どのように連携するとよりいいのかをお互いに確認した。ワーキング実施後、やり取りがしやすくなったとの声も聞かれており、顔を合わせてお互いに話をする重要性を再認識できた。

ひきこもり・不登校

☆本人や家族に安心して生活してほしい!!

【行った内容】

令和7年1月厚生労働省策定の「ひきこもり支援ハンドブック～寄り添う支援のための羅針盤～」について共有した。
来年度はひきこもりについての協議検討の場を再構成し、再度課題について精査する。

★令和6年度事務局★

部会長 相談支援事業所すたーと

石山主任相談支援専門員

相談支援事業所さど 金子相談支援専門員

障がい者就業・生活支援センター 高野センター長

佐渡市社会福祉課総合福祉相談支援センター 塚本

まもる部会

検討項目	1	住まいの保証人について	【事務局】 ◎こもれび 寺沢相談支援専門員（部会長） そらうみ 石川相談支援専門員 はまなすの家 原田相談支援専門員 社会福祉課 出崎
	2	地域生活支援拠点	
	3	障害者差別解消法改正について	

検討項目	1 住まいの保証人について	2 地域生活支援拠点	3 障害者差別解消法改正について
内容	保証人が見つからず住居が見つからない事例がある。 市内の実態調査と、他地域では同じような事例に対してどういった取組が行われているか調査し、佐渡市での今後の取組について検討していく。	近年の災害等により問題意識が高まっている。 土日夜間の対応が難しい場合があるため研修やマニュアル作成、緊急対応の可能性のあるケース（強度行動障害も含む）のリストアップ等を検討する。	障害者差別解消法が改正され、合理的配慮が一般の事業者にも義務化された。 地域において障害者差別に関する相談や争いごとの防止や解決などを本会でも検討してもらうため、検討内容の精査と準備を行う。
目標	市内の実態と他市の取組について調査	緊急受入時の体制整備を目指す	障害者差別の防止・解決に向けた検討
進捗・結果	9/5(木) 開催 構成員がそれぞれ、これまでに保証人の問題で困った事例の共有を実施。 今後の不動産会社に対して困り事などの聞き取りや情報交換会の開催や相談員等から事例を集めニーズ把握をするため、情報収集シートの作成、他地域での取組について調査の計画を行った。	①9/5(木) 開催 土日夜間、緊急時(災害も含む)のに受け入れができるよう連絡体制の整備と受入れるにあたって最低限必要な情報の整理について検討した。 ②10/4(金) 佐渡地域振興局主催の圏域別研修で講師の笠松氏から宮城県県南地域での取り組みを聞き、その内容も踏まえて、佐渡市として今後の取組などについて検討を行った。	9/5(木) 開催 令和6年4月から一般事業者や企業に対して合理的配慮が義務化されこと、障害者差別解消支援地域協議会の役割について確認。 令和6年12月1日に開催した、あったかフォーラムでの普及啓発を行った。

こども部会

検討項目	1	教育分野と福祉分野の連携・切れ目のない支援	【事務局】 ◎そらうみ 愛らんど 子ども若者相談C 社会福祉課 本間主任相談支援専門員(部会長) 奥村相談支援専門員 木下センター長 荒井
	2	医療的ケア児支援	
	3	こどもアドボケイト（意思表示支援、権利擁護）	
	4	児童を支えるサービス体制	

検討項目	1 教育分野と福祉分野の連携・切れ目のない支援	2 医療的ケア児支援	3 こどもアドボケイト（意思表示支援、権利擁護）	4 児童を支えるサービス体制
内容	支援を必要としているのに、網の目からもれていくケースがみられる。 まずは支援の切れ目となりやすい療育教室（じゃんぷ）の卒業と義務教育卒業後の支援が途切れたケースについて現状の確認を行う。	人工呼吸器や胃ろう等を使用し、痰吸引や経管栄養などの医療的なケアを日常的に必要な児童への支援について、佐渡市内の状況に応じて検討・協議の場をつくる。	新潟県でもこどもの権利擁護を行うアドボケイトについての取組みが始まっている。新潟県での状況を関係機関で共有し、必要に応じて検討を行う場をつくる。	障がい福祉サービスやその他のサービスの利用状況や提供状況について情報共有を行い、必要に応じて検討を行う場をつくる。
目標	現状理解	情報共有・必要時検討	情報共有・必要時検討	情報共有・必要時検討
進捗・結果	①令和6年9月24日 ②令和6年10月28日 ③令和6年12月19日 支援の切れ目と考えられる療育教室および中学校卒業後について確認した結果、支援が必要なケースについては子ども若者相談センターの関わりが確認された。今後も支援機関の連携を密に行う。	①令和6年10月8日 佐渡市内の支援の現状について共有した。 また、グループワークで医療的ケア児の支援体制構築や保護者支援について検討を行った。 今後も継続して情報共有および検討を実施していくこととなった。	①令和6年10月8日 新潟県の動向や意思表示支援について情報共有した。 グループワークにおいて、佐渡市内でできるこどもたちの意思表示支援について検討を行った。普段からこどもたちと接する大人の意識が大切であることが確認された。	①令和6年10月8日 グループワークでの検討を行った。 こどもたちのサービス利用調整のあり方や保護者支援について検討を行った。